

入学試験過去問題

数 学

広島大学（理系）

対象年度：2004年

試験時間：150分

問題数：5問

第 1 問

複素数平面上で不等式

$$2|z-2| \leq |z-5| \leq |z+1|$$

を満たす点 z が描く図形を D とする。

- (1) D を図示せよ。
- (2) 点 z が D 上を動くものとする。 $\arg z = \theta$ とするとき、 $\tan \theta$ の値のとりうる範囲を求めよ。
- (3) D の面積を求めよ。

第 2 問

次の問いに答えよ。

- (1) 点 $(3, 3)$ における円 $x^2 + y^2 - 4x - 2y = 0$ の接線の方程式を求めよ。
- (2) 次の連立不等式の表す領域を図示せよ。

$$\begin{cases} \log_{\frac{1}{2}}(2x - 3) \geq \log_{\frac{1}{2}} y \\ \log_2(x^2 + y^2 - 4x - 2y + 5) \leq \log_2 5 \end{cases}$$

- (3) a を正の数とする。点 (x, y) が (2) で求めた領域を動くとき、 $ax + y$ の最大値が 4 になるように a の値を定めよ。

第 3 問

X, Y はともに実数を成分とする 2 次の正方行列で

$$\begin{cases} 2X - Y = E \\ XY = O \end{cases}$$

を満たしているものとする。ただし、 E, O は、それぞれ 2 次の単位行列、零行列とする。

$X = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$ とおくとき、次の問いに答えよ。

- (1) X が逆行列をもつとき、 X, Y を求めよ。
- (2) X が逆行列をもたないとき、 $(2a + 2d - 1)X$ を求めよ。
- (3) X は零行列でなく、かつ X が逆行列をもたないとき、 a と d を b, c で表せ。ただし、 b, c は $bc \leq \frac{1}{16}$ を満たすものとする。

第 4 問

A を正の定数, θ は $0 \leq \theta \leq \pi$ を満たす実数とし, 2 つの曲線

$$y = A \cos x, \quad y = \sin(x - \theta) \quad (0 \leq x \leq 2\pi)$$

によって囲まれた図形の面積を S とする。また, この 2 つの曲線の交点の x 座標を a, b ($a < b$) とするとき, 次の問いに答えよ。

- (1) $\cos b \sin(a - \theta) = \cos a \sin(b - \theta)$ が成り立っているとき,

$$\cos \theta \sin(b - a) = 0$$

を示せ。

- (2) $b - a = \pi$ を示せ。

- (3) S を A, a, θ を用いて表せ。

- (4) S^2 を A, θ を用いて表せ。

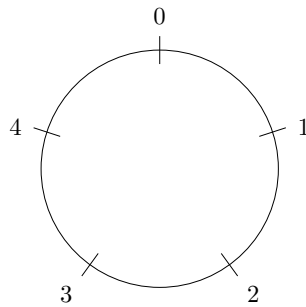
- (5) S を最大にする θ の値およびそのときの S の値を求めよ。

第 5 問

円周を 5 等分して図のように 0 から 4 の目盛りをふる。初めに点 P を目盛り 0 の位置に置く。硬貨を 1 回投げると、

表が出れば、点 P を右回りに 2 目盛り動かし、
裏が出れば、点 P を左回りに 1 目盛り動かす

という操作を繰り返し行う。硬貨を n 回投げたあと、点 P が目盛り i の位置にある確率を $p_n(i)$ と表す。



- (1) $p_2(1)$, $p_3(2)$, $p_3(3)$ を求めよ。
- (2) 硬貨を 4 回投げて、点 P がはじめて目盛り 2 の位置で止まる確率を求めよ。
- (3) $p_{n+1}(0) = \frac{1}{2} \{p_n(3) + p_n(1)\}$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) を示せ。
- (4) z を $z^5 = 1$ を満たす複素数とする。すべての自然数 n に対して、

$$\sum_{i=0}^4 p_n(i) z^i = \frac{(z^2 + z^{-1})^n}{2^n}$$

が成り立つことを示せ。